



稲敷市光葉団地「ミツバ・サロン」



代表の山本さん

稲敷市光葉地区住民の皆さんが活動するボランティア団体が今回ご紹介する「ミツバ・サロン」です。この「ミツバ・サロン」の活動拠点となる光葉団地は常住世帯280

戸、約600人から成る歴史も新しい高齢者向け分譲団地。それだけに「人通りもまばらで住民同士の横の関係も希薄となり、孤立したり、とじこもりの方が、多くなるのでは?と考えた」と語るの代表を務める山本初枝さん。そんな状況をなんとか解消するため、気軽に楽しく談話が出来る場の提供をと始めたのが「ミツバ・サロン」なのです。

●ケーキと飲み物で大好評

この「ミツバ・サロン」の主な活動は、それぞれ団地内自治会館を拠点に行われる「喫茶 みつばの風」、「サロン・たまりば」、「まちかど健康広場」の三つの柱から成ります。



おいしいお菓子でわきあいあい

特に奇数月に1回開催される「喫茶 みつばの風」は、プロ顔負けの手作りケーキや和菓子などを提供するなど来場者にも好評を博し、回を重ねるうちに口コミでその噂が広まり、徐々に来場者も増え時には会場が満席になるときもあるという活動の柱です。その人気の秘密を伺ったところ「やはり人が集まるには、何かきっかけが



手づくりのケーキや和菓子

必要。でも何か大がかりなものとなると用意する私たちも大変ですし、来て下さる方も遠慮してしまう。そこで考えたのは、メンバーにケーキ作りを得意とする方がいたこと

もあり、喫茶店風にケーキや飲み物を用意すれば、準備する私たちも来場者の方も気兼ねなく行えるのでは?と思ったのです」と山本さん。今では大勢でおしゃべりを楽しんだり、お一人静かにお茶やケーキを楽しんだり、または歌や楽器などで大いに盛り上がる方もいるなど、それぞれがお好きなスタイルで楽しんでいます。



親方衆も一服中

●相乗効果で団地に活気が



運営メンバーの皆さん

大盛況となった「喫茶 みつばの風」の相乗効果で、二つ目の活動の柱である偶数月に2回開催の「サロン・たまりば」も徐々にその存在が浸透し、多くの方が集い親睦の輪が広がり、情報交換や問題提起の場となりつつあるのだそうです。また、民生委員さんによる福祉関係の情報提供、困りごとなどの相談や協力に一役買うと言った作用も図れているとのこと。毎月第2月曜開催の看護師が健康相談やシルバーリハビリ体操などを指導する「まちかど健康広場」なども合わせ、「今後も無理なく自分たちも楽しんで地域に貢献していきたい」と山本さんを始めメンバーの方々は目を輝かせていました。



手づくりの立て看板



住民の皆様のおこしをお待ちしております。

